

協議会における今後の取組について

令和4年度 実証実験（案） ～効果検証の内容～

1. 生産者の取り組み

- A. 出荷データ入力 ○ 販売計画(市場・数量)との乖離減
○ 集荷・幹線車の早期手配
- B. 出荷時間の厳守 ○ 積み残しの改善
○ ドライバー・JA職員などの労働時間短縮

2. 生産者から主要出荷拠点への流れ

- A. 庭先集荷の実施 ○ 生産者の労働力軽減(高齢化対策)
- B. 集荷車両と幹線車両分離 ○ 集貨車と幹線車の分離による拘束時間短縮

3. 積載率向上の為のJA間の連携 ... ○ 積載率向上による幹線便の減(コスト削減)

4. 首都圏市場での取り組み

- A. 更なる拘束時間の短縮 ○ 予約システムの検証
○ 複数の取り卸し場所を1カ所に集約
- B. 荷役作業の見直し ○ 市場フォークマンの配置(作業時間削減+安全面)

協議会における今後の取組について

地方協議会名：トラック輸送における取引環境・労働時間改善秋田県協議会

農産物輸送の労働時間等の改善

【概要】

「秋田の未来の物流を考える協議会」の下に「農林水産物流検討ワーキンググループ」が設置され、秋田県の主要産業である農林水産において、長時間労働等課題改善に向けた検討が行われている。将来的にドライバーの高齢化や人材不足による物流の停滞が強く懸念されている中、秋田県内の青果物については、主に首都圏向けに出荷されており「働き方改革」に伴うドライバーの拘束時間短縮及び「改善基準告示」遵守に向けた諸課題及び出荷量等の情報不足による非効率な配車等、集荷業務の見直しの必要性が生じてきていることから、「首都圏向け青果物輸送に係る効率化実証事業」を通じてより効果的・持続的な輸送体制の構築に向けたモデル作りに取り組む。

2021年度	2022年度	2023年度	2024～年度	KPI	備考
	<p data-bbox="291 644 683 776">「首都圏向け青果物輸送に係る効率化実証事業」を実施。</p>	<p data-bbox="683 811 884 1029">2021年度の実証実験で洗い出された課題について、実証実験を実施。</p>	<p data-bbox="884 1043 1321 1225">2022年度の実証実験で洗い出された課題について、次年度以降の地方協議会において、取り組みを検討し、農産物輸送の労働時間等の改善を図る。</p>	<ul data-bbox="1321 611 1597 801" style="list-style-type: none"> ・農産物輸送の労働時間等の改善 ・積載効率の向上等による物流の効率化 ・ドライバーの売上高増等 	